

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025年 9月 23日 (17:00 ~ 19:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	6人	0人	0人	9人

前回の改善計画
担当性も活用して、初期の支援の情報をもとに家族とのカンファレンスを持ち、方向性を共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
担当性も活用して、家族とのカンファレンスができ、方向性の共有できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	7	0	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	4	1	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	2	1	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	5	1	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	本人や家族の希望をまず受け止め、初期の関わりの情報を共有し、必要な支援へ繋げることができている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	家族の思いと事業所でできる対応に、どうしてもズレが出てしまう。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	初期の支援を一ヶ月後の定期カンファレンス等で一度振り返り、家族にも伝え、支援方法の統一の確認をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025年 9月 23日 (17:00 ~ 19:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	1人	0人	9人

前回の改善計画
個々の目標に添ったモニタリング、カンファレンスの進め方を再検討し、支援に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
毎月のモニタリングやカンファレンスで再検討し、細かい支援に繋げることができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	7	2	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	6	2	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	2	0	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	2	3	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	本人の当面の目標は会話の中からも聴き取り、スタッフ全員で共有して支援することができている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	本人がどうしたいのか、介護者が思いを受け止めてもすべて対応することは難しい。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	本人の「～したい」の実現のために、家族も含めたチームで話し合い、実現可能なことから1つずつ実行していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025年 9月 23日 (17:00 ~ 19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	2人	0人	9人

前回の改善計画
本人の尊厳を大切にしたい生活の為に、自分だけの思いではなく、人の気付きに耳を傾け、記録を書き、確認して、実行していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
改善計画をできるだけ実践をしたが、幅広い計画だったこともあり、できている部分とできていない部分とがあり、評価もさまざまであった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	4	5	0	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	4	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	5	1	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	3	0	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	4	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	本人の残存機能の維持を大切にして、今の生活を継続できるよう、気持ちや体調の変化への即時的な対応にみんなで取り組んでいる。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	以前の暮らし方を知っての支援は、気付きがあっても共有までできず、在宅生活の継続に今必要な支援が中心となってしまう。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	本人の思いを聴けた時は、記録に残し共有し、確認の時も持ち、支援の方法の変更に繋げる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025年 9月 23日 (17:00 ~ 19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	6人	2人	0人	9人

前回の改善計画
これからも特に独居の方の関わりの時などには、民生委員、お帰り SOS、ボランティア、近隣の方々などの支援をお願いしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
民生委員や福祉まるごと相談室とも連携して、必要な方に支援を繋げることができた事例もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	8	0	0	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	5	4	0	0	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	8	1	0	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	5	1	2	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	民生委員や地域の資源（住民自治協議会、福祉まるごと相談室）などとの繋がりが、地域からの声掛けを頂いているいろいろな形でできている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	本人の自宅に戻っての生活スタイルは、宿泊を利用される方以外はなかなか充分には把握できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	通所の休みの日に（訪問に切り替えて）お邪魔して、実際の困りごとを自宅にてお伺いする機会をもつ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025年 9月 23日 (17:00 ~ 19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	1人	0人	9人

前回の改善計画	利用者のストレングスを引き出す機会として、地域の資源（カフェやボランティア他）を活用し、生きがいに繋げていけるように支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	事業所以外の関わりを持って頂けるよう努め、その方のストレングスを発見し共有することが多くあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	5	2	0	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	2	0	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	7	2	0	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	3	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・認知症カフェや運動教室等にも利用者も参加し、外部との繋がりも大切にしている。 ・日々の関わりから本人の気持ちや体調の変化への気付きを、柔軟な支援に繋げている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の資源（学校や地域の行事など）との関わりが、コロナ以前に戻っていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 小規模多機能の柔軟な支援と地域の資源を組み合わせ、利用者と地域との繋がりを増やす。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025年 9月 23日 (17:00 ~ 19:00)

6. 連携・協働

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	3人	3人	1人	9人

前回の改善計画
職員がまんべんなく、会議や地域の交流の場所に参加できるように情報収集し、少しでも多く参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果
まつお桜祭りなどの地域との会議に職員も参加したが、まだ全員まんべんなくとはなっていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	2	2	3	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	2	1	4	9
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	3	2	2	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	5	1	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・今年には防災訓練と併せて、松尾地区の桜まつりにも声かけを頂いて、事業として参加することができた。 ・小学校とも連携し、地域の子供たちが気軽に立ち寄れる場所になっている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	サービス担当者会議・運営推進会議・地域との会議や行事への参加も、一部の職員に限られてしまう。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	利用者の喜びに繋げる目的を持って、積極的に地域の行事や会議に計画を立てて参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025年 9月 23日 (17:00 ~ 19:00)

7. 運営

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	4人	1人	9人

前回の改善計画
運営推進会議の中から出る地域のニーズを、事業所と共に地域資源として継続していくことができるよう、会議に介護職員もできる限り出席できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
運営推進会議には、人的な問題もあり一部の人しか参加できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	2	2	2	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	4	0	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	3	1	0	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	5	1	3	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・外部評価が形だけにならない為にも、民生委員の方々が実際に事業所を何度も訪ねてくださり、交流も持つ事ができた。 ・本人や家族からの意見は受け止め、話し合い解決に向けて動いている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	運営推進会議が午前中ということもあり、どうしても現場を優先し、一部の職員しか出席できなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	地域のニーズを知るために、年6回の運営推進会議に毎回交代で介護職員も出席する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025年 9月 23日 (17:00 ~ 19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄6		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	1人	1人	9人

前回の改善計画
個々の目標にあった研修を個別に声掛けすることを続け、自ら希望する研修と合わせて、年に一つは外部研修に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果
外部研修には参加できたのは4名で、できなかった人に分かれてしまった。 研修が夜であったり、日中は2名は一度に勤務上出られないなどの理由がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	7	0	1	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	3	1	9
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	4	3	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	4	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・ 職場内研修は、伝達研修と併せて参加できている。 ・ リスクマネジメントは、常に報告書を基に進行形として早い対応を心掛け、防止策に移せている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	今年度は昨年度に基づいての人員配置が厳しくなり、良い外部研修があっても、業務時間内の研修参加は人数が限られてしまう。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	外部の認知症研修や、必要で関心のあるテーマ別の1日単位の研修に積極的に参加する。 以前行っていた認知症サポーター養成講座も、事業所での開催を計画し、受講する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2025年 9月 23日 (17:00 ~ 19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	3人	3人	9人

前回の改善計画
成年後見制度について、外部研修への参加や内部の職員研修に講師を招いて、みなで学ぶ機会を作り、活用できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
成年後見制度の研修への参加や、講師を招いての職員研修は、時間的にも合わずできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	3	0	0	9
②	虐待は行われていない	7	2	0	0	9
③	プライバシーが守られている	3	6	0	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	0	5	2	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	7	0	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	身体拘束廃止・虐待防止の研修やそれぞれの声掛けで、行き過ぎないように努めている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">現在は家族で対応できる方ばかりのため、費用もかかる成年後見制度に繋げる方はいなかったが、制度をもっと知ることも必要である。危険への声かけは、どうしてもスピーチロックになってしまうこともある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	成年後見制度の学びを内部・外部どちらかで計画し、参加や伝達で全員でもっと理解を深める。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 三重ベタニヤ	代表者	理事長 村上 久	法人・ 事業所 の特徴	法人理念はイエス・キリストの愛と奉仕の精神をもって高齢者にお仕えすることです。それを支える柱として(1)敬神と隣人愛をもって、(2)人の価値を行為にではなく、その人の存在そのものに価値を置き、(3)加齢を肯定的に捉え、枯れた美しさを見出す、ことに据えています。事業所としては、地域との繋がりを大切に、利用者にとってのもう一つの家のような、個性を尊重した居心地の良い所となるよう、三位一体(利用者・家族・職員)の温かい絆を大切に、寄り添った介助・介護ができるよう努めています。
事業所名	いこいの家小規模多機能型居宅介護事業所	管理者	古川 理佳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	6人	人	人	2人	人	2人	2人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	運営推進会議の構成員の方々に、外部評価の説明を、施設の見学なども入れながら、もう少し時間をかけて行う。	民生委員がグループに分かれて施設見学を数回行ったため、実際の施設の様子を、目で見て感じる事ができたのは大きかった。	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議に介護職員が出席をするという計画は、実際には難しいのではないかという意見があったが、今日の会議にも1名出席しており、地域との繋がりの為にも、今後も緊急の場合を除いては、1名は出席できるように備えていくことで可能であると説明した。 研修は、施設の働きにも関係のある、個々が得意とする資格の取得に対しての支援等があれば、積極的な研修参加に繋がるのではないか。 昨年も同じことを尋ねたが、この質問項目自体が評価しにくいものになっていると思うが、事業所が作っているのではないかと聞いているため、ここで言ってもしょうがないのかもしれないが、変えることはできないのかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価をする基になるのは、「事業所評価」という紙の上だけのものになるが、何より、実際に施設を訪れる機会を事業所からも提案し、評価がしやすい形に繋げていく。 利用者や家族への接遇を丁寧に行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	玄関の清潔を保ち、座って庭を見て過ごす利用者や家族も、気持ちよく過ごせる空間にする。	施設内の見学をさせてもらったが、きれいに整頓されていて、大変良かった。	日中は玄関に鍵をかけないの、外に出て行かれる方もある。安全面も考えセンサーも置	外から誰でも入れる状態にあるが、できる範囲での安全策を取りながら、玄関は面会や語らい

			くが、出入り口が玄関のみで、職員の出入りもあり、分かりづらいため、職員の出入り時には呼び出しベルも鳴らしている。	の落ち着ける場所として、清潔を保つよう努める。
C. 事業所と地域のかかわり	地域で、365日24時間空いている信頼できる場所で、相談もしやすい、繋げることのできる場所であることを、回覧板、ホームページ、新聞などを活用して、アピールしていく。	・回覧板は見るが、新聞の活用はあるか→夕刊三重の情報局をはじめとして、行事の広告なども掲載し、活用している。	・HPはあまりピンとこないが→活動状況の更新をしている。今、若い職員でHPのリニューアルに向け動いている。SNSはまだ活用できていないが考えている。 ・HPは受け身であるが、インスタは考えているか→これも若い層中心に、前向きに考えている	地域に向けての情報発信を、地域からの目線の意見を取り入れながら、「いつでも相談できる場所」であることを、行事（認知症カフェ、オープンカフェ、秋フェス）や、回覧板、新聞、HP（SNS、インスタ）などもできるところから活用して発信していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・コロナ以降、学校などに赴く機会が少ないため、施設で開催する行事（カフェ、運動教室、秋フェスなど）を地域の方々と共に開催し、利用者が地域との交流ができる機会を作っていく。 ・来年度から施設前に停留所ができる、地域の「デマンドタクシー」の説明を利用者や家族にもして、今までできなかったような、買い物などの外出の機会を増やしてもらえるよう働きかけていく。	全体的に、地域の行事や防災を通じての会議や交わりなどには参加できている。	・デマンドタクシーの利用時に介添えはいらぬのか→それぞれの方の状態による。現時点では、介添えが必要な方は利用していない。一人が難しい方は、いこいの家の職員が介助、同行するなど、その方に合わせた対応をしていく。 ・何を基準にしているのか。外でけがをされては困ると思う。どれくらいの方が利用されているか。→介添えを付けて、できることを出来なくしてしまうのは違う。難しいところである。利用されている方は、利用日以外の病院受診や買い物、食事などを、家族の了解は頂いて利用されている。 地域包括支援センターより：ケアマネージャーのアセスメントを基に判断して利用してもらえばいい。 福祉まるごと相談室より：利用される方は、身分証明を持っていただくことが大事である。	デマンドタクシーを、その方の状態に合わせた利用の仕方で、日々の生活での必要や楽しみに繋げることができるよう、利用の仕方の支援を行う。 高齢になっても地域の方々との繋がりが途切れないよう、まつお桜祭り、秋フェスやカフェなどへの参加が継続できるよう支援していく。

			<p>・施設スタッフで病院受診することはあるか。サービス評価の項目としてはあるか。→項目としては無い。基本的には家族様をお願いしているが、家族では難しい時や緊急時等はスタッフでも対応している。</p>	
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<p>外部との繋がりが途切れてしまいがちな高齢者と地域とを繋ぐために、何が必要かを共に考え、地域での活動などの協働への話し合いができる場所としていく。</p>	<p>実際に会議に参加される方が多く、取り組みを評価しているという意見がほとんどであった。</p>	<p>運営推進会議での繋がりの中で、まつお桜祭りには抹茶席として参加し、秋フェスには、福祉まるごと相談室や松阪社協、こども食堂などの参加もあり、地域の幅広い年齢層が目的を持って集う機会に関わることができた。</p>	<p>運営推進会議の中で地域にある事業所の現状を報告し、地域のニーズに添った働きができるよう、また、事業所のニーズも地域に向けて発信できるような活発な意見を交わすことができる会議を開催していく。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	<p>事業所の防災訓練への参加を呼びかけ、BCPや福祉避難所の計画を実際に使えるものに近づけていく。</p>	<p>地域からの防災訓練への参加は無かった。 災害時に事業所は頼りになるかどうかわからないという方も3名ほどあった。</p>	<p>職員の中で「防災士」の資格を取るなどの制度があり、資格を持った人が一人でも配置されれば、知識や意識がもっと深まるのではないかと。</p>	<p>今までの防災訓練と合わせBCPの訓練も、具体的な内容を運営推進会議の構成員の方々にも伝え、現状に合わせた訓練をし、参加を呼び掛けていく。</p>

